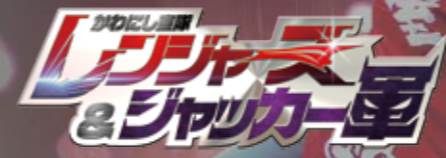


決算対決！
…というか

決算教室!?

ジャッカー軍が決算状況を詳しく解説

市役所の市政情報コーナーで、偶然出会った「レンジャーズ」のレッドと「ジャッカー軍」(次ページ参照)。どうやら話の流れから、ジャッカー軍がレッドに決算状況を詳しく解説することになったようです。彼らの話を聞いて、私たちも25年度の決算状況や今後の見通しについて、考えてみませんか。詳しくは財政室☎(740)1130へ。



財政事情を公表します

かわにし宣隊レンジャーズ&ジャッカー軍

まちの魅力を市内外に発信するために、市民などの有志が集まり「かわにし魅力発信プロジェクトチーム (PT)」が発足。そのPTから生まれたチームの1つが「かわにし宣隊レンジャーズ&ジャッカー軍」です。地味で静かな今のかわにしが大好きで、まちのPRを邪魔する「ジャッカー軍」と、マスクを無理やり付けられ偶然ジャッカー軍を倒して「かわにし宣隊レンジャーズ」と名乗ってしまったレンジャーズが騒動を巻き起こします。

幅広い世代の人に注目してもらい、いっぱいある川西のいいところを伝えたいという思いで活動中。YouTubeで動画を配信しているほか、各種イベントや川西の特産品の即売会などに登場し、会場を盛り上げています。詳しくは市シテプロモーションサイト (URL = <http://promotion.city.kawanishi.hyogo.jp/017297.html>) へ。

レンジャーズ
ジャッカー軍の騒ぎに偶然居合わせ、成り行きでヒーローに。正体は屋台カレー屋の青年。川西への愛をあまり自覚したことがなかったが、ジャッカーにつられ、ヒーローとして目覚めていく!?

ジャッカー軍
静かで清和源氏発祥の地である川西をこよなく愛し、地味でいてほしいと願っている。ただ、川西愛が行き過ぎて、みんなに迷惑を掛けてしまうことも。どうやら悪い人ではないかも…!?

25年度歳入歳出決算状況

25年度の歳入歳出決算状況は、一般会計の歳入が506億4,980万円、歳出が501億2,271万円となっており、実質収支は4億1,432万円の黒字となっています。特別会計を見ると、歳入が347億7,777万円なのに対し、歳出が344億810万円となっており、実質収支が6事業合計で3億879万円の黒字となっています。

区分	歳入決算額 (1)	歳出決算額 (2)	歳入・歳出差引額 (3)=(1)-(2)	翌年度に繰り越すべき財源 ※ (4)	実質収支額 (3)-(4)
一般会計	506億4,980万	501億2,271万	5億2,709万	1億1,277万	4億1,432万
特別会計					
国民健康保険事業	178億3,276万	177億8,642万	4,634万	0	4,634万
後期高齢者医療事業	23億7,079万	23億1,075万	6,004万	0	6,004万
農業共済事業	779万	779万	0	0	0
介護保険事業	105億1,688万	103億1,447万	2億242万	0	2億242万
用地先行取得事業	29億1,455万	29億1,455万	0	0	0
中央北地区土地区画整理事業	11億3,500万	10億7,412万	6,087万	6,087万	0
特別会計合計	347億7,777万	344億810万	3億6,966万	6,087万	3億879万
一般・特別会計合計	854億2,757万	845億3,081万	8億9,675万	1億7,364万	7億2,311万

(円)

端数処理のため、各項目の合計と合計欄の数値が一致しない場合があります。
※26年度に繰り越す事業に充てるための財源のうち、25年度に収入済みのもの。



一般会計と特別会計の違いは？

レ ジャあ、一般会計とか特別会計の違いって？

ジ 「会計」とは財布みたいなものをイメージして欲しい。一般会計とは市の一番大きな財布で、教育や福祉など、基本的な市民サービスを行う会計の事をいうんだ。

対して特別会計とは、使道があらかじめ決まっている会計のことで、例えば国民健康保険事業や介護保険事業などがこれにあたる。

レ なぜ分けてるのかな？

ジ 市ではいろいろな事業をやっているから、収支が分かっていくのを防ぐための工夫だよ。使道によって、財布を分けておくというイメージだよ。

レ なるほどね。25年度は一般会計も特別会計も黒字になってるんだ。なかなかうまくいっているじゃないか。

ジ その通り！ と言いたいところだが、そんなに簡単な話ではないのだ。

今後の収入や支出の見込みを考えると喜んではられないのだよ。

決算って何だ？

ジャッカー(以下ジ) 「決算」の意味は分かるか？

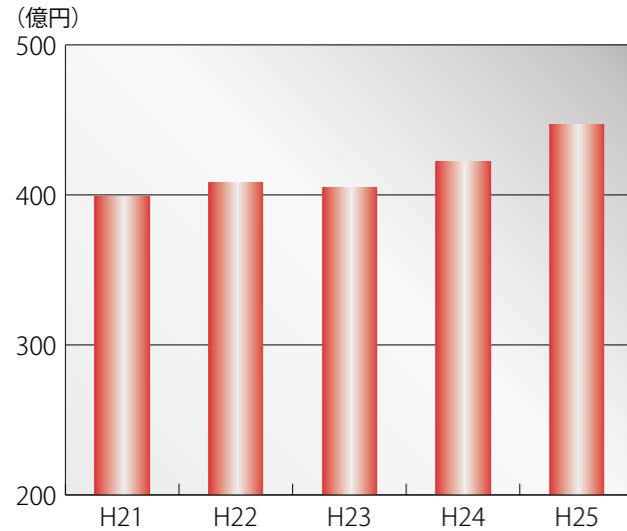
レッド(以下レ) 1年間に入ってきたお金と、使ったお金がいくらだったのか、まとめるということだよ。

ジ うむ、その通り。ちなみに、入ってきたお金は「歳入」、使ったお金は「歳出」というんだ。

かしこまり～

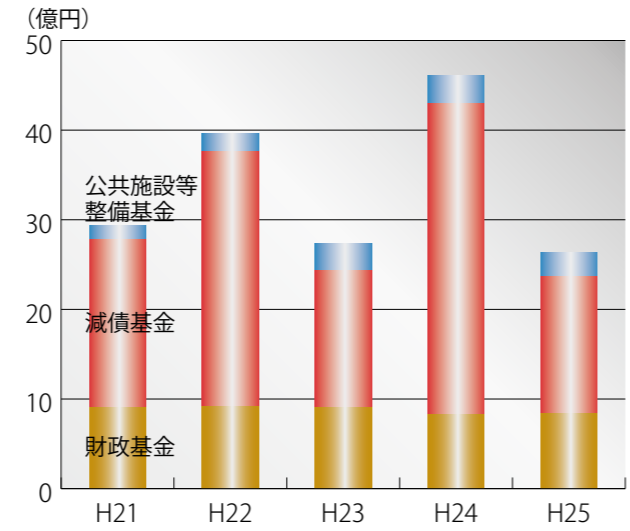
市債残高の推移

一般会計における市債（借金）残高の推移です。24、25年度と残高が増えているのは、学校耐震化のための教育債や臨時財政対策債を借り入れたことによるものです。



基金残高の推移

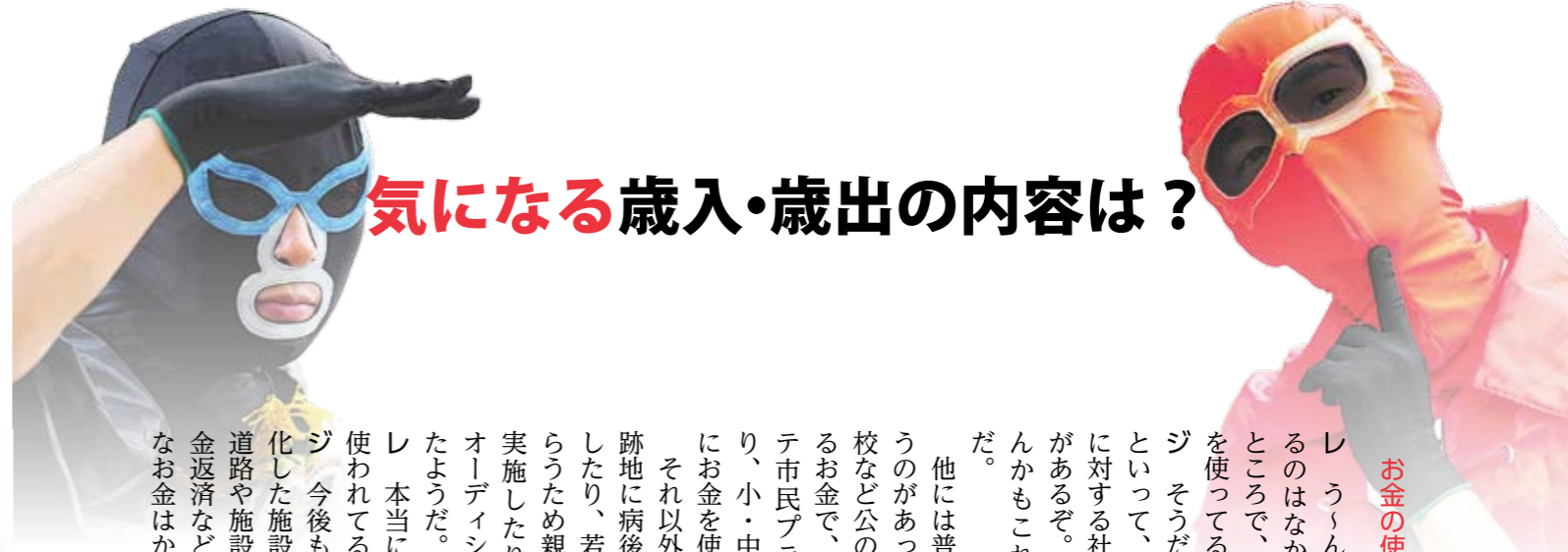
市の貯金である基金のうち、主要3基金（財政基金、減債基金、公共施設等整備基金）残高の推移です。25年度は減債基金や公共施設等整備基金から繰り入れを行いました。



レ へ、よく考えられてるんだな。
ところで、前年に比べて市の貯金が減ってるんだけど、これって貯金を取り崩してやり繰りしてるってことだよな？ 収入はなかなか増えない、必要なお金はどうしてもかかるとなると、貯金は減っていく一方じゃないか。
ジ そうならないために、何をすればいいのか考える必要があるんだ。

借金が必要なのか？
レ とところで、借金の額が増えているようなんだけど、これって借金しないとやり繰りできない状態ってことだよな？
ジ おっと誤解するなよ。お金がないから借金をするんじゃないぞ。道路や施設を一度整備すれば、その年だけじゃなくて将来にわたって使うことになるからな。
その年の納税者だけじゃなく、将来の人にも公平に負担してもらうために、借金して整備するという仕組みになっているんだ。
貯金が無くなる？
レ へ、よく考えられてるんだな。
ところで、前年に比べて市の貯金が減ってるんだけど、これって貯金を取り崩してやり繰りしてるってことだよな？ 収入はなかなか増えない、必要なお金はどうしてもかかるとなると、貯金は減っていく一方じゃないか。
ジ そうならないために、何をすればいいのか考える必要があるんだ。

主な歳入は市税
ジ 歳入の中で一番大きな割合を占めるのは税金で、歳入の約4割を占めているんだ。その中で最も割合が多いのは市税なんだが、所得や利益に応じて税額が決まるため、景気に左右されやすいという性質があるんだ。
レ 最近、景気が良くなってきたっていう話を耳にするんだけど、これからは税収も増えるんじゃないかな。
ジ 必ずしもそうとは言えないんだな。
要因の1つに高齢化があったり、定年退職で働く世代が減れば個人市税は減ることになる。川西は住宅都市だから、大きな企業が少なく法人市税も増加は見込めないんだ。
レ なるほど、そういうことか。
ジ ほかに固定資産税というのがある、これは家や土地に対してかかる税金で景気の影響を受けにくく、安定的な収入を見込めるんだ。だが、安定的ということも、大きく減ることはないが、大きく増えることもないんだよ。



気になる歳入・歳出の内容は？
レ うーん。今後歳入が増えるのはなかなか難しいのか。ところで、どんなことにお金を使ってるのかな。
ジ そうだな、例えば扶助費といった、障がい者や高齢者に対する社会保障の費用などがあるぞ。生活保護の費用なんかもこれに入っているんだ。
他には普通建設事業費というのがある、道路や橋、学校など公の施設の整備にかかるお金で、25年度は主にアステ市民プラザの整備をしたり、小・中学校の耐震化工事にお金を使ったようだな。
それ以外にも、栄保育所の跡地に病後児保育施設を整備したり、若年世帯に住んでもらうため元近居助成制度を実施したり、アーティストオーデイションなんかを行ったようだ。
レ 本当にいろいろなことに使われてるんだな。
ジ 今後も社会保障費や老朽化した施設の改修費、過去に道路や施設を整備した時の借金返済など、どうしても必要なお金はかかるだろうな。

一般会計 歳入決算額一覧表

景気回復に伴う株価上昇などの影響により収入が増え、また施設整備に伴う国・県支出金や市債収入の増額が主な増加要因となっています。

	25年度 (A)	24年度 (B)	増減額 (A)-(B)
市 税	196億9,315万	195億1,837万	1億7,478万
地方交付税など	89億6,089万	87億2,585万	2億3,504万
諸収入、使用料及び手数料など	31億1,403万	36億7,028万	△5億5,624万
国・県支出金など	97億7,085万	92億1,456万	5億5,629万
繰 入 金	14億6,467万	7億8,392万	6億8,075万
市 債	68億6,810万	63億2,436万	5億4,374万
繰 越 金	6億3,408万	3億8,875万	2億4,533万
不 動 産 等 売却収入など	1億4,403万	2億4,936万	△1億 533万
合 計	506億4,980万	488億7,544万	17億7,436万

端数処理のため、各項目の合計と合計欄の数値が一致しない場合があります。

一般会計 歳出性質別決算額一覧表

人件費や公債費は減っていますが、障害福祉サービス給付費や生活保護費といった扶助費、アステ市民プラザの整備や学校耐震化のための普通建設事業費が増えています。

	25年度 (A)	24年度 (B)	増減額 (A)-(B)
人 件 費	98億 833万	100億 815万	△1億9,982万
扶 助 費	104億7,728万	101億8,125万	2億9,604万
物 件 費	54億2,219万	53億8,013万	4,205万
繰 出 金	53億9,017万	49億3,972万	4億5,045万
補 助 費、補償付金など	86億9,265万	77億4,139万	9億5,126万
公 債 費	50億1,176万	52億6,333万	△2億5,157万
普通建設事業費	49億5,211万	42億6,189万	6億9,022万
積 立 金	3億6,823万	4億6,550万	△9,727万
合 計	501億2,271万	482億4,136万	18億8,135万

端数処理のため、各項目の合計と合計欄の数値が一致しない場合があります。





今日は勉強になったよ。
ありがとうジャッカー軍。

いいか、これは貸しだからな、
今度は俺たちの邪魔をするなよ～



ふ～、ついつい教えて
しまった。

いいから減らせば、ごみ処理のための費用を減らせるんだ。
レ シ 　そうか、一人ひとりの量は少なくても、市全体になればかなりの量を減らすことができるってことだね。
ジ 　他には、医療費の増加が大きな課題になっているから、病気になるないように予防したり、早期発見・治療するっていうのも効果的だな。
レ 　特に今、市では健康づくりや運動習慣のきっかけづくりとして、「かわにし健康マイレージ」といった取り組みを

行っているから、こういったことをうまく活用すればいいと思うがな。
レ 　自分も健康になるし、市の支出を減らせるなんて、やらない手はないよな。それにしても、自分にできることって、結構あるもんだな。
ジ 　これまであまり考えたことがなかったよ。
レ 　行政に任せきりにせず、自分たちのまちの現状を知って、一人ひとりができることから始める。そんな小さな積み重ねが大事だと思うぞ。

経費節減方法とその効果

- ☆ごみの減量
 - ✓ 燃やすための燃料が少なくてすむ
 - ✓ 二酸化炭素の排出量が減り、地球にもやさしい
- ☆病気の予防・早期発見（健康マイレージの活用）
 - ✓ 医療にかかる費用（国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療）が少なくなる
 - ✓ 健康で幸せな生活が送れて、家庭の医療費負担も少なくなる
- ☆救急車の適正利用
 - ✓ 救急車運用の費用が少なくてすむ
 - ✓ 重病、重症の人への対応がよりスムーズに
- ☆税や保険などの期限内納付。口座振替の利用
 - ✓ 納め忘れや滞納が減り、徴収にかかる費用が少なくてすむ

どうすれば改善される？

家計簿に例えると？
ジ これまでに、決算についての大きな説明、歳入と歳出、借金と貯金についての状況を説明してきたが、理解はできたか？
レ まだなんとなく難しいっていうイメージは残ってるかな。
ジ そうだな、じゃあ家計簿に例えてみるか。身近なものに置き換えると、理解しやすくなるかもしれないからな。
レ 簡単にとめると下の表のようになる。食費や医療費、ローンの返済や老朽化した家の増改築など、生活する上でどうしても必要な経費が大半を占めている。

また、本業の給料だけでは全ての支出を賄えず、副業収入や親からの援助、貯金の取り崩しなどでようやく家計を維持している状況になっているのが分かるだろう。
レ 本当だ、分かりやすいかも。確かに本業の収入以外の割合が結構多くなってるな。現状、あまり余裕がない状況っていうのはよく分かったよ。
ジ もちろん、このままの状態が続くのは好ましくないから、状況を改善するために、市では「行財政改革」といって事務のやり方や事業の見直し、正職員数の削減や給与のカットなんかで支出を見直しているのだ。もちろん収入を増やす取り組みもやっているぞ。ただ、行財政改革は一定の効果があげているんだが、急に状況が改善するということではないんだよ。
自分たちができることは
レ じゃあ自分に何かできることはないかな？ 自分の住むまちのために、少しでも力になればうれしいからね。
ジ いろいろとあるぞ。例えば、家を出るごみを少しでも

市の財政を家計簿に例えると（1カ月あたり）

収入		支出	
給料（市税・地方交付税など）	17万円	食費（人件費）	5万9千円
副業収入 （諸収入、使用料および手数料など）	1万8千円	医療費（扶助費）	6万3千円
親からの援助 （国・県支出金など）	5万8千円	光熱水費（物件費）	3万2千円
貯金の取り崩し（繰入金）	9千円	仕送り（繰出金）	3万2千円
借金（市債）	4万円	保険代、自治会費など （補助費、貸付金など）	5万2千円
前月の残り（繰越金）	4千円	ローンの返済（公債費）	3万円
古本などの売却 （不動産売却収入など）	1千円	家の増改築など（普通建設事業費）	3万円
		貯金（積立金）	2千円
収入合計	30万円	支出合計	30万円

持続可能な行財政運営の基盤の確立を



総合政策部 財政室長
荒崎成治

少子化と高齢化の進行に加えて人口減少が大きな課題となり、わが国においては人口増加や経済成長を前提とした政策を展開することもできなくなりました。地方自治体においても、今まで以上に、限られた資源や財源を有効に活用して、安心して暮らせるまちづくりを進めていくことが求められます。
そのため、本市では従来から、社会経済情勢や環境の変化に合わせて行政運営の仕組みの見直しを進めています。
その取り組みの一つとして、27年度から小学校区単位で活動している「コミュニティ組織」のさらなる発展をめざした「地域分権制度」をスタートさせることとしており、地域の組織やネットワークの強化を図り、地域の課題をそれぞれの地域で解決していくための、新たな仕組みが動き出すこととなります。
今後、市民の皆さんのご理解とご協力を得ながら、個性豊かで魅力ある地域社会づくりに取り組みつつ、それを将来にわたって継続し、さらに発展させるための行財政運営の基盤を確立していきたいと考えています。

